

報道関係者 各位

2025. 7. 24  
< 配信枚数 2 枚 >

「月面探査ミッション」に挑戦！月の石や月面探査車、月面着陸したSLIM搭載のカメラ同型機などを展示  
**【大阪・関西万博】立命館大学宇宙地球探査研究センターと「宇宙」を体験する2日間**  
【日時】8月8日(金)、9日(土) 10:00~17:00【場所】大阪・関西万博内EXPOメッセ「WASSE」

立命館大学(所在地:京都市中京区、学長:仲谷善雄)は、大阪・関西万博 中島さち子プロデューサーが主催するシグネチャーイベント「世界遊び・学びサミット」において、宇宙・月面探査研究をテーマとしたブースを出展します。

宇宙地球探査研究センター(所在:滋賀県草津市、センター長:佐伯和人、以下「ESEC」)が取り組む最先端の研究活動をわかりやすく紹介するとともに、小学生から高校生を対象とした「月面探査ミッション」(ワークショップ)を開催します。ブースでは、2024年1月にピンポイント着陸に成功した小型月着陸実証機SLIMに搭載したマルチバンド分光カメラ(MBC)の地上試験用モデルを学外で初めて公開するほか、月の組成を分析する手法を開発するために使用する月隕石、月面模擬フィールドなどで実証実験に用いる地盤調査ロボットなど、ESECメンバーの研究活動を展示・解説します。またJAXAの協力を得て、ESECが研究開発に協力する有人圧ローバー(月面探査車)の1/10モデルの展示と運転シミュレーターを用いた操縦体験を実施します。



ワークショップでは、ESEC 研究者が携わる実際のプロジェクトをモチーフとした「月面探査ミッション」を小学生から高校生を対象に実施します。「月面着陸船ワークショップ」では、資金調達から製造、月面着陸までを達成する模擬ミッションに取り組んだり、「ブロックローバーワークショップ」では、月面を模擬した実際のフィールドで、惑星探査車をプログラミングして走らせたりする体験ができます。また会場内に設置されたスタンプを重ね押しして完成させる、ESEC 特製カードを来場者にプレゼントします。

2050年にかけて、世界の宇宙ビジネスの市場規模は5倍以上に拡大する見通しで、宇宙産業を支える人材不足が課題となっています。立命館では小学校から大学院までの一貫教育の特性を生かし、ESEC研究者による附属校生への出前授業や、宇宙開発や宇宙ビジネスに求められる知識を理解する体験型の「宇宙マネジメントプログラム」などを実施し、次世代の人材育成に積極的に取り組んでいます。本イベントの「多様ないのちが、自分らしくワクワク輝く生成的な協奏の場を創る」というフィロソフィーに共感し、立命館ならではの未来の学びについて語り、表現しあう場づくりに取り組んでまいります。

本リリースの配付先: 京都大学記者クラブ、草津市政記者クラブ、大阪科学・大学記者クラブ、文部科学記者会

**【取材のご案内】**

以下の日程にて、ESEC 展示ブースをご取材頂けます。

ご希望の方は8月6日(水)15:00までに、右のQRコードからお申込みください。

日時:2025年8月8日(金)10:00~13:00(ワークショップは12:00~13:00)

\*ESEC 研究者への取材やインタビューをご希望の場合は備考欄にご記入ください。



以上

---

●取材・内容についてのお問い合わせ先

学校法人立命館 広報課 担当:岡本 TEL:075-813-8300 Email:r-koho@st.ritsume.ac.jp